

Affiliated with the International Association  
THE Y' S MEN' S CLUB OF TOKYO HACHIOUJI  
Chartered October 30, 1994



〒 194-0211  
東京都阿田市相原 1857  
長谷川 あや子 TEL : 042-771-6962  
FAX: 042-771-6962  
E-mail : ayako.h3@nifty.com

2015 年 8 月

第242号

The Service Club of The YMCA

## 東京八王子 ワイズメンズクラブ

会 長 長谷川 あや子  
副会長 中塚 辰生 望月 隆珉  
書 記 山本 英次  
会 計 小口 多津子  
林外会長 大久保 重子  
担当主事 鳩山 徹郎  
ブリテン 山本 英次・茂木 稔  
大久保 清  
直前会長 久保田 貞視

国際会長主題 Wichian Boornmapajorn(タイ) 「信念のあるミッション」  
スローガン: "Count Your Blessing" 「恵みを数えよう」  
アジア地域会長主題 Edward K. W. Ong (シンガポール) 「愛をもって奉仕をしよう」  
スローガン: "Let it Begin with Me" 「まず自分から始めよう」  
東日本区理事主題 渡辺 隆 (甲府): 「原点に立って、未来へステップ」  
"Stand at the origin and take a step for the future"  
あずさ部部長主題 標 克明 (甲府) 「ワイズメンとして一歩前進」  
クラブ会長主題 長谷川あや子 (八王子) 「若い人の成長を願い、ともに歩む」

### 8月例会プログラム

(直前 会長・メネット会長 感謝会)

B班 久保田・辻・並木・茂木・望月

日時: 8月8日(土曜日) 17:30~20:00

場所: 北野駅北口駅前レストラン&バー「FINE」

八王子市北野町546-10 [TEL:042-646-7418](tel:042-646-7418)

会費: メン3,000円。メネット・ゲスト4,000円

受付・集金: 並木、

司会: 茂木

開会の挨拶

長谷川会長

感謝状授与

長谷川会長

乾杯

長谷川会長

ひとこと(夏の思い出)

全員

閉会の挨拶

長谷川会長

### 巻頭言

#### 新たな高尾の森わくわくビレッジの応援も

#### 宜しくお願い致します

高尾の森わくわくビレッジ 館長 佐藤 信也

2015年4月1日付けで高尾の森わくわくビレッジに配属となりました佐藤信也です。昨年まで江東YMCA 幼稚園・江東コミュニティーセンターの主任主事として4年間お世話になりました。この度、前クラブ会長久保田貞視様よりご依頼を受け、7月から高尾の森わくわくビレッジのスポークスマンとしてクラブメンバー登録をさせて頂く事になりました。例会への出席率は業務上厳しいかと思いますが、できる限り努力します。クラブ員の皆様へは「高尾の森わくわくビレッジ」(以下、わくビレと言う。)に対し、今まで以上に興味、関心を寄せて頂きたく、今後もブリテンを活用し、わくビレ情報として掲載させて頂きます。是非、お

先月の例会ポイント (7月)		BF ポイント	
在籍	19名	切手(国内・海外)	53g
メン	13名	累計	573g
メイキャップ	1名	現金	0円
出席率	74%	累計	0円
メネット	3名	スマイル	7,208円
ゲスト	0名	累計	167,987円
ビジター	0名		
ひつじぐも	6名	オークション	0円
		累計	73,450円

#### (聖句)

「ローマにいる、神に愛され、召された聖徒一同へ。わたしたちの父なる神および主イエス・キリストから、恵みと平安とが、あなたがたにあるように。」

(ローマ人への手紙1章7節)

読み頂ければ幸いです。

さて、皆様もご承知の通り、「わくビレ」は、京王グループと東京YMCAグループと共同運営事業を基盤とし、東京都より委託された「多摩地域ユース・プラザ整備等事業：高尾の森わくわくビレッジ」の運営を行っております。昨年度、10年間の契約が終了し今年から新たに10年間の再契約を東京都と締結しました。リアルな「体験」、Face to Faceで知恵を触発・創造する「コミュニティ」、発見・学び・楽しさに溢れる「プラザ」をキー・コンセプトとした『体験型コミュニティプラザ』の創造を提供できる施設としてすべての人々に開かれた教育施設です。

特に今年度は、これまでの10年の運営実績やノウハウを活用し、これからの10年も持続可能な施設として『YMCA ミッション』を継承しながら年間宿泊者35,000名、プログラム参加者28,000名、顧客満足度95%、リピーター率70%を集客目標とした運営を目標としています。

目標達成に向け、スタッフはさらに連携を強め、互いに情報を共有し、誰にでもホスピタリティー精神を持ち優しく安心なサービスの提供を心掛けます。また、プログラムはマンネリ化を防ぎ安全なプログラム提供に心掛けプログラムの幅を広げリピーターをあきさせないプログラム提供を行います。そこに関わるボランティア育成の増強は必要不可欠で、その働きはわくビレを支える根幹になります。そこで、今年度は特に「ボランティア養成と強化」を運営方針の一項に加え、その育成とプログラムの向上に努めます。

最後に、今年度もこれまで培ってきた地域団体や学校、町会、ワイズメンズクラブ等との協力関係を継続し進めて参ります。今後も八王子ワイズクラブの皆様におかれましては、わくビレ運営に関し是非ともご理解とご協力を賜れば幸いです。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

### 第1回 あずさ部「海の日」評議会の報告

並木 信一

7月18日(土)午後、新年度第1回の「あずさ部「海の日」評議会」が、東京山手ワイズメンズクラブのホストで、JR山手線目白駅に近い、「目白聖公会」を会場に開催されました。評議会は、議決権者52名中、出席37名、委任状15名で成立、所定の議事がおこなわれましたが、教会をお借りしての評議会にはとても新鮮な印象を与えられました。(参加者は全員で62名)。

会の冒頭、開会の挨拶の中で、標(しめぎ)部長は、「自分は、あずさ部の船長の役をお引き受けしたので、精一杯役割を果たしたいと思うが、残念ながら、船の浮かぶ「海」がよく見えていない。ついては、あずさ部の運営にあたり、「海」そのものである各クラブの全面的なサポートをお願いしたい」と、部運営への協力を求められた。

議案審議では、前年度の部会計決算報告、監査報告、2015~2016年度部評議会・部会開催日程及び開催ホストクラブは、すべて報告・提案通り承認されました。承認された、部会・評議会の日程とホストクラブは、▼部会・10月18日(土)甲府クラブ、▼第2回評議会・2月13日(土)松本クラブ、▼第3回評議会・5月14日八王子クラブと決定。

議案審議に続いては、標部長による東日本区役員会報告、各事業主査、及び各クラブ会長による所信表明が行われ、当クラブの長谷川会長は、「昨年度、私たちのクラブは、設立20周年という記念の年に、各種記念事業を行い、すべて所期の目標を達成し、栄えある「優秀クラブ賞」をも受賞した。新しい年度、さらに中大学Yや西東京YMCAとの交流、サポートに励み、若い人と共なる歩みを進めると共に、継続諸事業の充実に励みたい・・・」と、抱負を述べられました。

閉会式後、ワイズ入会以後49年間例会出席100%という、西東京クラブの吉田明弘メンによる、「やっぱ、ワイズだべ」と題する卓話があり、懇親会をもって第一回の評議会を終了しました。

当クラブからの出席は長谷川、中塚、山本、小口、久保田、並木の6名でした。



#### 高尾の森わくわくビレッジ行事ご案内

高尾の森わくわくビレッジ館主催(文化スポーツ教室)にて下記の通り計画をしております。

##### ①行事名：チャレンジザそぼり

日時：9月6日(日)10:00~13:00

内容：手打ち蕎麦作り

対象：家族・友人同士※中学生以下は保護者同伴

定員：定員10組40名(1組は4名以内)

費用：一人分864円(税込)※1名分は100gです。

持ち物：エプロン・三角巾

申込み：お電話または来館にて

##### ②行事名：自然であそぼう!!わくわく秋祭り

日時：9月13日(日)11:00~12:30

※講師の都合により時間帯の変更可能性があります。

内容：ゲーム体験を通し自然環境を学ぶ

対象：年中~小学4年生 ※参加はお子様限定

定員：定員30名

費用：一名216円(税込)

申込み：お電話または来館にて

参加者：どなたでもご自由にご参加頂けます。

## 「C. S. の実践」

茂木 稔

今年私の担当はCS (Community Service) になりました。昨年度の一年はワイズ活動において、CS関連の行事が続いたものでした。まずは、20周年記念例会が10月に予定され、それに向けて7月より20周年誌の記事集め、編集と作本を担当して9月末まで集中して責任を果たしました。やっとその行事を終えて、今度は台湾のIBC関係を有する台湾高雄港クラブとの音楽交流の話しが進んで、2月末には八王子の市民ホールで大々的な交流会を催すことが出来ました。

3月にはCS事業の柱であるチャリティーコンサートを実施しました。その直前には街頭募金を中大ひつじぐもの人達と実施して、そのコンサートと共に寄付金は東日本大震災支援と地雷廃絶運動へ役立てることが出来ました。

振り返って見ますと、これらの活動において常に中央大ひつじぐものクラブの学生の大きな支援を受けて実施出来たものばかりです。そこで、私案ですが、彼らの力を借りて実施している行事を、今後共催という形にしたほうが、実質的な反映が良いのではないかと考えています。

その第一はチャリティーコンサートです。準備段階ではワイズメンが中心であるもの、実施段階では20名近くの学生の力を借りているのが事実なのです。もし共催でなくとも後援として記しても十分な内容であると考えられます。学生達とは個人的にも関係が近く、私が使用していたタブレットを4年生の方に譲り、卒論の作成に役立っているとのことで大変喜んでます。また、趣味の山登りの用具がありますが、もう残念ながら使用する機会は無くなると思えますので、これらの用具も2年生の山好きの方に譲り、役立てて貰いたいと考えています。ゆくゆくは本格的に山登をするようならば、大切にしているピッケルとアイゼンも渡したいと思えます。

また、ワイズメンとしてはもっと日常的な活動もあっても良いのではと考えています。

私は今、以前ワイズメンであった田原氏と一緒に自宅近くのバスターミナルの花壇を二人でボランティアで管理して、花を植え続けています。苗を植えつけてより花が咲くまではその雑草取りの管理が実に大変なのです。バス停に来た人達が咲いた花を見て「きれいですね」と声を掛けてくれるのは嬉しいものです。

実は今現在も雑草を取らないといけない程になっているのですが、この暑さの中では熱中症が怖くて作業に出られないうえです。秋のケイトウの花がきれいに咲く予定なのですが、もう少し涼しくなってくれたら作業に出ようと考えているところです。

## オリエント急行初体験

久保田佐和子

二年前前から友人数人とアガサ・クリスティーの「オリエント急行殺人事件」を読み始め、これが終わったら、「オリエント急行に乗りたい」という漠然とした夢を持っていたが今年3月末読み終えた時点で、やはり夢を実現しようということになり女性4人で出かけることになった。

アガサの生まれ故郷トーキーを訪ねた後6月28日日曜朝9時半、ロンドン・ビクトリア駅で「ベニス・シンプロン・オリエント・エクスプレス」専用の受付で手続きをし、貴重品のバッグ以外は列車に積み込まれる。まずビクトリア駅から乗る列車はブリティッシュ・プルマンという英国の豪華列車。黄色と栗色のピカピカのツートンカラーが眩しく、乗り込んだ我々の車両名はVEGA。

音もなく出発すると間もなくウエルカム・シャンパンが振舞われブランチが提供される。ドーバー海峡の手前迄この列車で行き、大型バスに乗り換えてユーロトンネル近くで通関、その後バスのままトンネルシャトル列車に乗り約30分でドーバー海峡を通過。フランス側のカレーヴィルで初めてオリエント・エクスプレスに対面。濃紺の列車の前にはトレインマナー、シェフ、スチュワードらがお迎え。我々は決められたK車に乗り込む。いよいよポアロの世界。キャビンは2人一部屋《ソファが二段ベッドになる》で別の二人とは隣のキャビンスイートなのでドアを開ければ行き来自由。ポアロではこうだったとか、狭い廊下を行き交う時はポアロもやはり横を向いていた等と話題に事欠かない。

ディナーでは皆さんおしゃべりして殆どがカップル。日本女性が4人で行くのは好奇心で見られていた？ディナーの後はバー・カーに移り、アガサ・クリスティー・カクテルを注文。ハーブの香りのちょっと地味なカクテル。一夜明けて左右に切り立った山々、穏やかな湖等を見ながらたごと揺られて列車はイタリア・ベニスに到着し「オリエント急行」30時間の旅が終わった。



VENICE SIMPLON ~ ORENT EXPRESS

(キックオフ例会にて)



＜今年度の抱負＞

- ・小口多津子：会長標語のすばらしさ、具体的な表現に感動しました。学生さんの参加が毎回あることは、東日本区クラブのお手本です。区のユース委員の折りに、学生さんを呼ぶことに井上なるみさんの協力をもらってみんなに注目されました。卒業後、落ち着いたらワイズのクラブを思い出してください。
- ・並木雍子メネット：若い方々新1年生は、YMCA とは何か？ワイズとは何か？を考えながら成長させてください。
- ・中塚辰生：今期は副会長として会長を支えることを望月副会長と一緒にいきます。  
梁取くんから井上さんへそして佐藤君へのワイズ係の引継ぎが素晴らしい協力です。今年のインビテーション賞（会員増強事業表彰）は、述べ102名の学生さんの行事への参加が評価されました。
- ・並木信一：CS 委員長と B 班班長として昨年はあったが、今年も再度、CS 委員長とあずさ部会員増強委員主査を引き受けました。最も苦手な部分ですが、前向きの姿勢で部報の文章に抱負を書きたいと思います。CS としては、チャリティーコンサートが主題ですが、出演者の決定を8月末までに行いたい。三上さんの評判が良いので、再出演も考慮したい。
- ・辻直司：仙台 YMCA では、部室に集まりワイワイしていた。それで良いのではないかな？ワイズの信条の最後の信条に徹してゆきたい。体調によるが例会第一として参加する。行事には協力します。今日も沖縄のカリユシを着てきました。
- ・大久保重子メネット：メネット会長を仰せつかりました。メネット会の例会卓話者を紹介してください。
- ・多河敏子：会員増強 EMC を担当します。八王子在住の地域の方を卓話に招いて、友人・知人に集まってもらいます。絹の道ボランティアは、山中さん、茂木さんを中心として行っているが、山中さんは引越先先の遠方より毎月八王子まで来てくれます。手工芸を続けております。
- ・久保田佐和子メネット：八王子メネットが減少して、高齢化しているので、健康で1年間を何もなかったように過ごしたいです。
- ・福田勝江：5年生となりました。自分の自由な時間が取れる事を幸せと考えます。その宝を今後ワイズを中心に

して生きて、自己責任で生涯を行きたい。学生さんのしっかりとした生き方に学んで、力を戴きたいです。切手の収集が少なくなりましたが、文字を書く事の大切さを忘れないでください。

- ・大久保清：ワイズ歴20年になります。代表者を交代したので、これからは頑張ります。
- ・橋本秀昌：マリリンモンローの前に座っております。今日は食事が1時間半かかっております。体調が悪い日もありますが、皆と一緒に、仕事に自信がないが、ワイズを止めずに頑張ります。ワイズの会合が楽しみです。
- ・茂木稔：交流・ウェルネス委員長として今年も頑張ります。ウェルネスは、年2回を開催したいが、歩行時間の短い処を見つけております。ワイズ担当の佐藤君へ提案ですが、チャリティーコンサートを中大ひつじぐもの協賛の体制作りが可能かを諮りたい。
- ・望月隆珉：入会して良かったことは、隣人愛を教えてくれたことです。時間の許す範囲で協力したい。
- ・久保田貞視：IBC で台湾・高雄の交流を維持する。国際大会に参加して、高雄へ行こう。京都大会へは、台湾からの参加が95名であります。
- ・工藤伸太：3年生です。来年は就活ですが、人生の夏休みの大学生らしい生活を送りたい。
- ・牧野充幸：2年生ですが、2回目の例会参加です。有意義な機会を得て、広い価値観を持ち、カッコいい大人になりたいし、いろいろな事に挑戦したいです。
- ・林今日華：19歳になり、歳を取った感じです。精神年齢を実年齢に近づけたいです。行事にも参加したい。
- ・坪倉淳子：福島出身ですが、親元を離れて、両親の有難味が判りました。故郷に帰って貢献したい。
- ・井上なるみ：会長標語をまねて、「ひつじぐもの後輩の成長を願い、ともに歩む」としたいです。新年度30名が入会して、70名体制となり充実しております。ひつじぐもの良い処を後輩に残し、共に歩んで成長したい。
- ・山本英次：会長が私を書記に選んだのは、山本さんはクラブ活動に非協力であるから、書記にして、クラブに出席させたいとの意向によるそうです。書記として、今年は何会議事録を作り欠席者は勿論、出席者へも郵送して決めごとを確認してもらいたい。ブリテン委員長としては、東日本区ブリテン大賞をいただくことを目標にしたい。ただし、書面のテクニックに走らずに、記事の内容を吟味してゆくので、協力してください。
- ・長谷川あや子：100年後を考えると、中大生との歳の差はあるけれど、私たちは同世代の人間です。会長として考えられることは、全てやり尽くすつもりです。クラブ優秀賞は3回もらっているが、ブリテン最優秀賞を今年はいただきたいですね。発行時期を守る事も大事です

## YMCA 西東京便り

YMCA 西東京センター所長 嶋山 徹郎

大変暑い日が続いておりますが、体調等崩されておられませんでしょうか？東京はコンクリートの道が多いので、昼間の熱を蓄熱してしまい、夜になっても暑く感じますね。私たちが夏を過ごすキャンプ場は、高地であることに加え、地面が土のところが多いので、夕方ぐらゐから涼しくなる場所が多いです。キャンプインしてしまえばあつという間の夏です。多くのキャンパー、ボランティアリーダーたちと過ごす一瞬の夏。出来る限り、実り深き時間となればと願ってやみません。

ボランティアリーダーたちは、キャンプ直前の7月が一番の大忙しの時期です。キャンプの準備が追い込みの時期に入ることに加え、学生はテストの時期だからです。試験勉強で眠そうな顔をしながら、夜は西東京センターに来てミーティングに参加します。学生の本分である勉学に勤しみながら、キャンプの準備をするのは大変なことですが、その両方を応援したいものです。

8月に入り、キャンプもスタートします。様々な対象に対して、その一人ひとりが大切にされ、キャンプでしか出会えない他者と出会い、新しい価値に触れていく。一つひとつのキャンプは長いものではありませんが、一瞬一瞬が成長する機会となると思ひながら、二度と返らないその時間を大切に過ごします。キャンプソングを歌ひながら、キャンプファイヤーを楽しみながら。人は人に出会って人になります。子どもたちの成長は限りないものでしょう。子どもたち、リーダーたちの成長の一部をYMCAが担えることに感謝しつつ、その瞬間に携われることにこの上ない喜びを感じるものです。

安全で実り多きキャンプになりますように、祈りの中に覚えていただければ幸いです。今月もお支えをお願いいたします。

## 中大・学Y便り

### 学びの姿勢

2年 佐藤克彦

「その言行己より賢（すぐ）れる者は、以て師とすべし。何ぞ常の師あらんや。」（『聖教要録』）江戸時代の儒学者、山鹿素行の言葉である。山鹿素行は会津生まれ、儒学者の林羅山に従事し朱子学を研究する。その後、儒学の古典を学問の中心に据え、『聖教要録』を出版したが、幕府から朱子学を批判したとして発禁処分をくらい流罪となった人物である。

特定の師匠にべつたりの姿勢は忠実なように見えても実はそれは甘えであると痛烈に批判し、言動が優れる者に出会いその人を師とし、教えを請えと山鹿は言う。

2010年に日本サッカー代表の前々監督ザッケローニは次のように語る。「選手も監督も2年以上は同じチームにいるべきではない。なぜなら2年ですべてを教えることができるからだ。選手は1人の監督から何かを習ったら別の監督から新しいことを教えてもらう方がよい」と。

1人の人間から教えられることはたかが知れている。そもそも師匠に従事し師匠の技を盗んでも、それは師匠のカーボンコピーでしかない。つまるところ、己を高めるためには多くの人から多くの事を吸収するしかないのだ。

時が経つのは早いもので、私が大学に入学しよう1年半を迎えようとしている。この1年半の間に、ふざけて周り笑わせる道化人、真面目で何かに熱中している人、自身の夢を叶えるために努力する夢追い人、思考力が私と比べ物にならない程優れた人など、様々な人に出逢った。

皆それぞれ私には無いモノを持っていて私は羨ましいと思うことはしばしばあった。山鹿の言葉を借りれば、自分の持っていないものを持っている彼らは私にとって「己より賢れる者」であり、私の師である。人間は一生学び続ける生き物であり、何歳になっても知を探求し、自身がより良い存在となるためにその人生をかけて学ぶ。私はそんなより良い存在になりたいがために「己より賢れる者」を探し、これからも学んでいきたいと思う。

### (お 話)

ローマはパウロが伝道していた頃は権力と文化の中心地で、パウロはローマ帝国の植民地で生まれ育ったためにローマ帝国の市民権を持っていました。パウロの終局の伝道目的地はローマだったのですが、裁判を受けるために送還されたことによって、ようやくローマ行きの夢を実現できたという皮肉な運命でした。

ともあれ、異教徒だらけのローマに住む信仰の兄弟たちのことを、パウロは何時も気にかけていました。ここにとりあげた聖句はその祈りの核心です。“神とイエスからの「恵みと平安」を願う以外の何ものでもありません。“恵み”という語をずば抜けて多く用いている書はローマ人への手紙です。

ワイズの新出発にあたって神とイエスの恵みが豊かでありますように祈ること切です。

仲田達男

**報 告**

**7月第1例会議事録** 平成27年7月11日  
 出席者：長谷川、中塚、小口、山本（以上A班） 久保田、久保田メネ、辻、並木、並木メネ、茂木、望月（以上B班）大久保、大久保メネ、多河、橋本、福田（以上C班）坪倉淳子（1年）、林今日華（1年）、蜂谷真基（1年）、牧野充幸（2年）、井上なるみ（3年）、工藤伸太（3年）

以上中大ひつじぐも 合計22名  
**\*開会点鐘** 長谷川会長（2015～2016年度）  
**\*ゲスト、ビジター紹介** 卓話者・村瀬氏の欠席報告  
**\*新旧会長引継ぎ式** 久保田前会長と長谷川新会長の会長バッジ引継ぎ 同 大久保メネット会長 眞野前メネット会長欠席により長谷川会長と握手  
**\*新会長の挨拶**（長谷川会長）

12年ぶり2回目の会長として挨拶。昨年度は、優秀クラブ賞の獲得でしたが、さて今年度の目標は、会長主題「若い人の成長を願い、ともに歩む」をモットーにして、若い人とともに歩んで行きたいと思えます。

- ・Y サービスは、チャリテランに武蔵野多摩クラブと一緒に1チーム合同参加をしますので、木場公園へ応援にきてください。ボランティアリーダー会は、西東京センターで行われます。
- ・地域奉仕活動は、絹の道ボランティアが、メネット中心に継続して行きます。第18回チャリテコンサート開催を目指します。
- ・国際交流は、DBC,IBC とともに健康に留意して活動しましょう。DBCは、今年は八王子の担当です。
- ・会員増強は、19名をまず20名に戻します。田中さんと酢屋さんの休会。高尾わくわく館長の佐藤さんが、7月より入会されます。
- ・ユースは、中大ひつじぐもとの協働を元にして、中大学Y ナイトや草刈り活動やコンサート協力と街頭募金活動への協力をお願いします。
- ・在京ワイズ新年会と第3回あずさ部評議会は、八王子クラブがホストクラブとなります。

**\*クラブ役員（2015～2016年度）紹介** 別紙参照  
**\*食前の祈り** 小口さん 聖句（ブリテン1頁掲載） 祈り：新しいスタートを大勢の人と出来る事を感謝し、若い中大生が、充実した一年間であることを祈ります。

**昨年度事業報告**（久保田前会長）別紙参照  
 会員は、20名から始まり20名で締める。（増加なし）チャリテランに新チーム参加（10万円）。20周年記念例会116名参加 目加田中大教授講話。台湾ユースオーケストラ60名参加 いちようホール協力 八王子5中学合同ブラスバンドとの友好交流。富士山例会等CS や交流やユース活動を積極的に行う。東日本区大会にて優秀クラブ賞及びインビテーションクラブ賞獲得。その他、多くの賞を受賞。

**ボランティア活動**

\* 老人デイサービスセンター 鐘水\*  
**【報告】**  
 7月7日（火）ペーパーフラワー 14:00～15:00  
 参加者：赤羽・石井・色川・久保田・昆・多河・下重・眞野・山中・茂木  
**【予定】**  
 8月はお休みです  
 9月9日（水）手工芸 14:00～15:00

**B F 報告**

7月切手	国内：53g（小口）	累計：548g
	外国：0g	累計：25g
		合計：573g
7月プルタブ	0g	累計：1400g

**＜西東京センター 主な行事予定＞7月～11月**

**10月**  
**4日（日）**「西東京ファミリーフェスティバル」  
 @高尾の森わくわくビレッジ  
 6つある定例野外活動毎にブースを出し、定例野外活動登録者やキャンプ参加者が家族とともにブースを回りのながら、工作やクッキング、ゲームなどを楽しみます。最後は全員でキャンプファイヤー。リーダーの頑張りとファミリーの笑顔を見にいらしてください。午前中にはキャンプ参加者向けのキャンプ報告会も実施しています。

**11月**  
**3日（火・祝）**「西東京センター会員の集い」@西東京センター  
 西東京センター登録の東京YMCA会員を対象とした、一年に一回の活動報告会です。活動報告後は、スタッフ、ワイズ、会員、ボランティアリーダーが一同に会し、親睦会を開きます。世代を超え、立場を超え、毎年、有意義な時間を過ごしています。

**8月スタッフ紹介：村山達哉くん**

東京YMCAに入職して、最初の配属がこの西東京センターでした。それからあっという間に4年が経ち、今年で5年目を迎えました。ボランティアリーダーの経験もなく、YMCAを知ったのは入職してからでした。そ



のため、入職するとすぐにキャンプネームで呼ばれ、定例活動やキャンプで様々な場所に出かけて行き、老若男女、様々な対象の方々と出会い……。毎日がたくさんの驚きの中、スタートした「Y生活」でしたが、1日1日がとても新鮮で、楽しく過ぎていき、つい最近のことように思い出されます。これまで、様々なイベントの中で、みなさまとご一緒できることも楽しく感じ、またたくさんのご支援に感謝しております。これからもどうぞよろしく願いいたします。

**8月誕生日の皆さん**

田中 寛	8月13日
眞野 みつ子	8月17日